

導電性マウススティックの製作

1 相談内容

相談者は対象者本人です。『今まで外付けの感圧式(抵抗膜式)タッチパッドをパソコンに接続して、マウススティックで操作してきたが、そのパッドも入手が困難になった。これを機にパソコンと、タブレット端末の両方の操作に対応できるマウススティックを作ってほしい。』と相談がありました。そこでノートパソコンとタブレット端末に対応し、感圧式タッチパッドの感覚を残したマウススティックを製作することにしました。

2 対象者プロフィール

60 代男性、身体障害者手帳 1 級、要介護 5 です。頸髄損傷です。家族と暮らしています。

3 対応

対象者が使用しているマウススティックは直径 5mm アルミパイプの先端部に市販のスタイラスペンを取り付け、把持部にはシリコンチューブがはめてあるものでした。対象者はアルミニウムの人体への影響を心配されていることから、素材選びも重視しました。なお対象者との意見交換から、静電気防止・帯電防止リストバンド(ストラップ式)をアルミパイプ等につないで、先端部まで導電路を作るアイデアが浮かび、途中を菜箸でつなぎ、把持部へはシリコンチューブで保護して一次試作を行いました。また先端に反発力を持たせるため、消しゴム付き鉛筆の先端に導電ゴムシートを付けたマウススティックを二次試作しました。



現マウススティックと一次試作品



先端に導電ゴムシートを付けた二次試作品

4 結果

対象者と意見交換しながらストラップ式マウススティック(二次試作品)を製作し、これを使って対象者がノートパソコンおよびタブレット端末の操作ができることを確認しました。

5 予算

1,000 円程度